研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
C-540		21-318	慶應義塾大学　加藤眞三

題名（原題／訳）

Scoring systems to assess relapse risk in alcohol use disorder presenting for early liver transplantation: A systematic review

早期肝移植を希望するアルコール使用障害者の再発リスクを評価するためのスコアリングシステム。システマティックレビュー

執筆者

Akhil Shenoy[1], Aryeh Dienstag[2], Penina Dienstag[2], Laura Ford[3], Elizabeth Schubert[3], Margot Wankoff[3], Kanwal Mohan[3], Omar Mirza[3], Meera Bhardwaj[3], Gene Im[3]

掲載誌

Gen Hosp Psychiatry. 2021 Sep-Oct;72:23-30. doi: 10.1016

キーワード	PMID
AUD、アルコール、アルコール性肝障害、肝移植、心理社会的、再発、ツール	34229280

要　旨

目的　アルコール使用障害（AUD）患者では，肝疾患による急性死亡リスクが高い場合，限られた断酒期間であっても，早期の肝移植（LT）が検討される。本論文の目的は、長期間の断酒時間に頼らないで、LT 後のアルコール再発を予測する心理社会的ツールを見出すことである。

方法　我々は、Pubmed、Embase、Scopus において、LT 後のアルコール再発を予測するための数値スコアリングを用いた心理社会的ツールをテストする研究の系統的レビューを実施した。禁酒期間の長さを点数化したツールは除外した。各研究は、臨床的背景、LT 後の再発アウトカム、予測妥当性について分析された。

結果　5 つのスコアリングシステムが 14 のサンプルにおいて、LT 後のアルコール再発の予測に様々な妥当性を示した。LT 後のアルコール使用への再発は、平均 23%であった。ほとんどのスコアリングシステムは研究開発の途中であったが、5 つのうち 4 つのスコアリングシステムは、再発に対して高い陰性予測値を示すカットオフスコアを提供していた。

結論　スコアリングシステムは候補者選定に有用であるが、カットオフスコアと予測可能性に関するデータは、高いリスクを伴う LT 選定に単独で使用するにはまだ不十分である。前向きなスコアリングと LT 後の再発の標準化されたフォローアップを伴うより大規模な研究により、これらの心理社会的ツールの予測妥当性を比較することができるようになるだろう。